



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岡村 信悟
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 経営企画本部本部長 (氏名) 渡辺 圭吾 (TEL) 03(6758)7200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	114,452	△1.9	16,895	△19.5	24,231	5.2	16,297	9.1	16,821	6.8	20,275	△5.8
2025年3月期第3四半期	116,727	12.1	20,979	—	23,031	—	14,944	—	15,755	—	21,518	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	150.91	150.54
2025年3月期第3四半期	141.48	141.33

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	374,986	259,688	251,440	67.1
2025年3月期	394,188	252,875	241,734	61.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	66.00	66.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
2. 配当予想の修正については、本日(2026年2月5日)公表いたしました「配当の基本方針の変更および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		営業利益(Non-GAAP)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	146,500	△10.7	17,000	△41.3	26,500	△19.5

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 業績予想に関する事項の詳細は、(添付資料)4ページ「1. 経営成績・財政状態の概況」をご覧ください。
なお、Non-GAAP営業利益は、一定のルールに基づき非経常的な項目・その他特定の項目を調整した指標であり、IFRSに基づく営業利益から、買収、事業・組織変更等に係る一時費用・一時利益、会計上の計上時期の補正等の影響を控除しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) デライト・ベンチャーズ・ビルダー 3 号投資事業有限責任組合 除外 一社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	122,145,545株	2025年3月期	122,145,545株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	10,646,913株	2025年3月期	10,746,088株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	111,466,616株	2025年3月期3Q	111,356,235株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式 (2026年3月期3Q : 125,778株、2025年3月期 : 160,073株) を含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 連結業績予想及び配当予想に関して
本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 決算補足資料の入手方法
当社は、2026年2月5日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当日の当期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期配当	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
① セグメント情報	11
② 1株当たり利益	14
③ 資産の減損	15
④ 重要な後発事象	15

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当社グループは、エンターテインメント領域や社会課題領域で各種事業を展開しておりますが、企業価値の向上に向け、それぞれの特徴を活かした収益基盤の形成や、構造的・継続的に成長する事業群の形成、事業間のシナジーの形成等に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）において、売上収益は、114,452百万円（前年同期比1.9%減）となりました。主な変動要因は、後述のセグメント別の業績に詳述のとおりとなっております。

売上原価については、51,130百万円（前年同期比4.6%減）となりました。スポーツ事業の成長に伴う費用の増加があった一方、ライブストーリーミング事業及びゲーム事業の動向や、業績推移に応じて変動する支払手数料が減少しました。

販売費及び一般管理費は、37,472百万円（前年同期比10.2%減）となりました。販売促進費の減少に加え、ゲーム事業やライブストーリーミング事業等の業績推移に応じた支払手数料が減少しました。

その他の収益・費用においては、減損損失計9,912百万円をその他の費用に計上しました。詳細は「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（7）要約四半期連結財務諸表注記 ③資産の減損」をご参照ください。

金融収益は1,643百万円（前年同期比36.2%減）、金融費用は584百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

持分法による投資利益は、6,277百万円（前年同期比2,201.4%増）となりました。前年同期比では、主な持分法適用関連会社である株式会社CygamesやG0株式会社等の業績動向等が変動要因となりました。

以上の結果、当社グループの売上収益は114,452百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は16,895百万円（前年同期比19.5%減）、税引前四半期利益は24,231百万円（前年同期比5.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は16,821百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は48,295百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は23,303百万円（同10.8%増）となりました。

2024年10月30日に新規リリースしたタイトル『Pokémon Trading Card Game Pocket』は配信当初の初速からの反動等はあったものの、引き続き貢献しましたが、前年同期比で減収増益となりました。

②ライブストーリーミング事業

ライブストーリーミング事業の売上収益は30,325百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は3,302百万円（前年同期は376百万円の損失）となりました。

国内の「Pococha（ポコチャ）」では、2025年3月期上期においてTVCM等のマーケティングも実施していましたが、同下期以降は、より収益性の改善に優先順位をおいた事業運営を進めております。「IRIAM（イリアム）」に関しては、引き続き堅調に推移しました。

③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は28,208百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は5,604百万円（同11.1%増）となりました。

株式会社横浜DeNAベイスターズでは、2025年シーズンの主催試合における観客動員数が球団史上最多記録を更新したほか、各種の収入が複層的に伸長し、好調に推移しました。

④ヘルスケア・メディカル事業

ヘルスケア・メディカル事業の売上収益は6,065百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント損失は2,539百万円（前年同期は3,545百万円の損失）となりました。

ヘルスケア・メディカル事業では、今後の成長に向けた取り組みの精査と推進を継続して行っております。

ヘルスケア領域は、データ利活用に関しては前年同期比で増収、また、データヘルスにつきましても堅調に推移

しました。メディカル領域では、医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join（ジョイン）」の国内での展開、海外での展開、また、ポータブル医療機器とJoinを組み合わせたJoin Mobile Clinicの3つの取り組みに集中を図りつつ、固定費の低減も進めております。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は1,906百万円（前年同期比25.4%減）、セグメント損失は1,977百万円（前年同期は776百万円の損失）となりました。

当区分には、AIに関する取り組み等、中長期での成長や事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組み等を含んでおります。

（2）財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ19,202百万円減少し、374,986百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ15,798百万円減少し、126,889百万円となりました。この主な要因は、売掛金及びその他の短期債権が21,021百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,403百万円減少し、248,097百万円となりました。この主な要因は、のれんが9,614百万円減少、その他の長期金融資産が5,247百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ26,014百万円減少し、115,298百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ24,070百万円減少し、64,725百万円となりました。この主な要因は、その他の流動負債が9,409百万円減少、買掛金及びその他の短期債務が6,610百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,945百万円減少し、50,573百万円となりました。この主な要因は、繰延税金負債が1,242百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末に比べ6,813百万円増加し、259,688百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が10,489百万円増加したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第3四半期連結会計期間末において流動比率196.0%、親会社所有者帰属持分比率67.1%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,729百万円増加し、97,531百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は26,137百万円（前年同期は14,283百万円の収入）となりました。主な収入要因は税引前四半期利益24,231百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7,285百万円（前年同期は7,098百万円の支出）となりました。主な支出要因は有形固定資産及び投資不動産の取得5,066百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は14,210百万円（前年同期は5,171百万円の支出）となりました。主な支出要因は配当金支払額7,244百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向等を勘案し、上記の通り最新の見込みに修正しました。

売上収益から営業利益（IFRS）につきましては、2026年3月期第3四半期（連結）累計期間までの実績において、ゲーム事業が従来業績予想（レンジ予想）の上限に対して順調に推移したほか、ライブストーリーミング事業では収益性の改善に優先順位をおいた事業運営で着実な成果となったこと、スポーツ事業の好調な推移等を考慮した一方、前述の減損損失の影響を考慮しております。

営業利益（Non-GAAP）につきましては、当該減損損失は含んでおりません。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期配当

当社は、事業の成長や経営体質の強化、資本効率の向上等により企業価値を継続的に向上させ、株主利益に貢献していくことを重要な経営課題として認識しております。

配当による還元につきましては、業績ボラティリティが高い等の事業特性や中長期での成長実現へ向けた投資を踏まえる必要がある中においても中長期的にご支援いただけるよう、DOE（親会社所有者帰属持分配当率（連結））3%を目安として実施することとし、継続して安定した配当を行ってまいります。

さらに、株価や経営環境の変化に対する機動的な対応や資本政策及び株主に対する利益還元の一方法として、自己株式の取得等にも対応してまいります。

内部留保資金につきましては、企業価値の最大化を図るため、既存の収益基盤強化、また、中長期的な成長を実現する事業ポートフォリオの構築にも有効投資してまいります。

上記基本方針に基づき、当連結会計年度の配当金につきましては、当社普通株式1株につき66円の普通配当を予定しております。

なお、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本的な方針としております。

詳細については、本日（2026年2月5日）公表の「配当の基本方針の変更および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	92,803	97,531
売掛金及びその他の短期債権	44,543	23,522
未収法人所得税	596	29
その他の短期金融資産	287	489
その他の流動資産	4,459	5,317
流動資産合計	142,688	126,889
非流動資産		
有形固定資産	9,581	9,839
投資不動産	-	4,197
使用権資産	22,794	22,922
のれん	30,361	20,747
無形資産	19,919	20,043
持分法で会計処理している投資	59,506	55,868
その他の長期金融資産	108,473	113,720
繰延税金資産	830	731
その他の非流動資産	37	30
非流動資産合計	251,500	248,097
資産合計	394,188	374,986

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	23,609	16,999
借入金	31,024	30,720
リース負債	1,602	2,511
未払法人所得税	8,619	3,290
引当金	5,728	1,816
その他の短期金融負債	1,232	1,818
その他の流動負債	16,981	7,572
流動負債合計	88,795	64,725
非流動負債		
借入金	5,125	4,485
リース負債	10,655	10,342
引当金	329	621
その他の長期金融負債	237	298
繰延税金負債	35,842	34,600
その他の非流動負債	329	226
非流動負債合計	52,517	50,573
負債合計	141,312	115,298
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	14,796	11,398
利益剰余金	184,544	195,033
自己株式	△20,653	△20,416
その他の資本の構成要素	52,651	55,028
親会社の所有者に帰属する持分合計	241,734	251,440
非支配持分	11,142	8,248
資本合計	252,875	259,688
負債及び資本合計	394,188	374,986

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	116,727	114,452
売上原価	△53,599	△51,130
売上総利益	63,128	63,322
販売費及び一般管理費	△41,733	△37,472
その他の収益	942	1,837
その他の費用	△1,358	△10,792
営業利益	20,979	16,895
金融収益	2,576	1,643
金融費用	△796	△584
持分法による投資損益(△は損失)	273	6,277
税引前四半期利益	23,031	24,231
法人所得税費用	△8,087	△7,934
四半期利益	14,944	16,297
以下に帰属する四半期利益(損失)		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	15,755	16,821
四半期損失：非支配持分に帰属	△811	△525
合計	14,944	16,297
(単位：円)		
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	141.48	150.91
希薄化後1株当たり四半期利益	141.33	150.54

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	14,944	16,297
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	6,584	4,328
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	6,584	4,328
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	△14	△316
キャッシュ・フロー・ヘッジ	3	△34
その他	△0	1
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	△11	△349
その他の包括利益(税引後)	6,574	3,978
四半期包括利益合計	21,518	20,275
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	22,365	20,130
四半期包括利益：非支配持分に帰属	△847	145
合計	21,518	20,275

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年4月1日残高	10,397	15,750	162,578	△20,757	41,237	209,204	10,821	220,025
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	15,755	-	-	15,755	△811	14,944
その他の包括利益	-	-	-	-	6,610	6,610	△36	6,574
四半期包括利益合計	-	-	15,755	-	6,610	22,365	△847	21,518
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△2,227	-	-	△2,227	△63	△2,290
自己株式取引による増加(減少)	-	△24	-	44	△6	15	-	15
株式報酬取引による増加(減少)	-	39	-	-	30	68	-	68
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	10	△10	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	△79	-	-	-	△79	80	0
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	115	-	-	△129	△14	△38	△52
2024年12月31日残高	10,397	15,811	176,096	△20,713	47,741	229,332	9,952	239,284

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2025年4月1日残高	10,397	14,796	184,544	△20,653	52,651	241,734	11,142	252,875
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	16,821	-	-	16,821	△525	16,297
その他の包括利益	-	-	-	-	3,309	3,309	670	3,978
四半期包括利益合計	-	-	16,821	-	3,309	20,130	145	20,275
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△7,241	-	-	△7,241	△42	△7,283
自己株式取引による増加(減少)	-	△79	-	237	△63	95	-	95
株式報酬取引による増加(減少)	-	17	-	-	79	97	-	97
非支配持分の取得及び処分等	-	△3,455	-	-	-	△3,455	△1,238	△4,693
子会社の支配喪失に伴う変動	-	-	-	-	-	-	△1,673	△1,673
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	118	909	-	△947	80	△86	△5
2025年12月31日残高	10,397	11,398	195,033	△20,416	55,028	251,440	8,248	259,688

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	23,031	24,231
減価償却費及び償却費	3,696	5,151
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△1,344
減損損失	230	9,912
賞与引当金の増減額(△は減少)	△774	△3,914
有価証券損益(△は益)	△41	319
受取利息及び受取配当金	△1,707	△1,207
支払利息	193	265
持分法による投資損益(△は益)	△273	△6,277
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	△8,125	20,551
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△5,880	△6,547
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,694	△2,962
前受金の増減額(△は減少)	△6,205	△6,584
その他	2,511	637
小計	8,349	32,230
利息及び配当金の受取額	1,611	9,646
利息支払額	△117	△163
法人所得税支払額	△1,420	△15,766
法人所得税還付額	5,860	191
営業活動による正味キャッシュ・フロー	14,283	26,137
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の売却による収入	-	318
子会社又はその他の事業の売却による支出	△27	△728
関連会社株式の売却による収入	-	823
関連会社株式の取得のための支出	△601	△725
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	320	1,639
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△1,250	△1,266
有形固定資産及び投資不動産の取得	△1,886	△5,066
無形資産の取得	△3,611	△4,243
残余財産の分配による収入	-	1,419
その他	△43	544
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△7,098	△7,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,592	△300
長期借入れによる収入	-	30
長期借入金の返済による支出	△94	△635
リース負債の返済	△1,295	△1,435
配当金支払額	△2,229	△7,244
非支配持分からの払込による収入	20	653
非支配持分への配当金の支払額	△20	△121
自己株式の処分による収入	39	201
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△0	△5,359
その他	△0	△0
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△5,171	△14,210
現金及び現金同等物の増加額	2,014	4,642
現金及び現金同等物の期首残高	71,396	92,803
現金及び現金同等物の為替変動による影響	266	87
現金及び現金同等物の四半期末残高	73,677	97,531

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「ライブストリーミング事業」、「スポーツ事業」、「ヘルスケア・メディカル事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」、「SC相模原」等
ヘルスケア・メディカル事業	ヘルスケア・メディカル関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ヘルスビッグデータ関連サービスの提供、「Join（ジョイン）」をはじめとする医療DX関連サービス等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： 新規事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間

(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	50,496	30,935	26,329	6,418	2,548	—	116,727
セグメント間の売上収益	85	—	121	29	6	△241	—
計	50,581	30,935	26,450	6,447	2,555	△241	116,727
セグメント利益（損失）（注） 1	21,026	△376	5,044	△3,545	△776	22	21,395
その他の収益・費用（純額）							△416
営業利益							20,979
金融収益・費用（純額）							1,779
持分法による投資損益（△は損失）							273
税引前四半期利益							23,031

(注) 1 セグメント利益（損失）は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益（損失）の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間

(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	ゲーム 事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	48,157	30,325	28,102	6,045	1,823	—	114,452
セグメント間の売上収益	139	—	106	20	83	△348	—
計	48,295	30,325	28,208	6,065	1,906	△348	114,452
セグメント利益（損失）（注） 1	23,303	3,302	5,604	△2,539	△1,977	△1,842	25,850
その他の収益・費用（純額）							△8,955
営業利益							16,895
金融収益・費用（純額）							1,059
持分法による投資損益（△は損失）							6,277
税引前四半期利益							24,231

（注） 1 セグメント利益（損失）は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益（損失）の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	15,755	16,821
四半期利益調整額		
：子会社の発行する潜在株式に係る調整額	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	15,755	16,821
基本的期中平均普通株式数 (株)	111,356,235	111,466,616
希薄化性潜在的普通株式の影響		
：ストック・オプション等	124,091	272,934
希薄化後の期中平均普通株式数	111,480,326	111,739,550
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	141.48	150.91
希薄化後1株当たり四半期利益	141.33	150.54

③ 資産の減損

当社グループは、減損損失を認識し、要約四半期連結損益計算書の「その他の費用」に計上しております。
減損損失の内訳は、以下のとおりであります。

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
その他の流動資産		
前渡金	△113	—
有形固定資産		
工具、器具及び備品	△1	—
のれん	—	△9,614
無形資産		
ソフトウェア	△7	△298
その他の非流動資産		
長期前払費用	△109	—
合計	△230	△9,912

当社グループは、独立したキャッシュ・フローが識別できる最小単位でグルーピングを行っております。なお、遊休資産については、個別資産ごとにグルーピングしております。将来キャッシュ・フローは、将来の予測に関する経営者の評価と過去実績に基づき、外部情報及び内部情報を使用して見積もっております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

重要性の観点から個別に記載する減損損失はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

以下の資金生成単位におけるのれんについて減損の兆候が認められたため、減損テストを実施しております。

(a)ヘルスケア・メディカル事業に含まれる株式会社アルム

当第3四半期連結累計期間において、当初想定されていた収益が見込まれなくなったこと等から、見直した将来キャッシュ・フローの予測に基づき減損テストを実施いたしました。減損テストにおいては、当第3四半期連結累計期間にマネジメントが承認した5年以内の事業計画に基づいて将来キャッシュ・フローを算定しております。将来キャッシュ・フローの見積りにおける主要な仮定は、将来事業計画における売上収益に係る成長見込み（特に医療DXに関する成長見込み）及び将来事業計画の期間経過後の成長率、並びに割引率であります。

回収可能価額は使用価値に基づき、加重平均資本コストを基礎に算定された税引前の割引率24.1%で現在価値に割り引いて算定しております。

減損テストの結果、回収可能価額がのれんを含む固定資産の帳簿価額を下回ったことから、減損損失9,614百万円（のれん）を認識しております。

その他の資金生成単位については、重要性の観点から個別に記載する減損損失はありません。

④ 重要な後発事象

該当事項はありません。